

なかがわ 議会だより

No **131**

2020.1

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



11月27日(水) 総務常任委員会所管事務調査 東川町
旭川福祉専門学校の生徒から東川町での暮らしや授業についての感想を聞いている様子

主な 内容

- 第4回定例会【一般質問4氏】
- 第3回定例会歳入歳出決算認定
- 総務常任委員会所管事務調査
- 上川管内町村議会議員研修会
- 議会日誌
- 編集後記

年頭のご挨拶

中川町議会議長 佐藤輝雄



明けまして、おめでとうございます。
町民の皆様にはお揃いで、令和2年の輝かしい年明けを御健勝にて迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

中川町議会は昨年4月の統一地方選の結果を受け、新たな議会構成のもとで5月の臨時会以降12月の定例会を経て、今日まで各常任委員会の所管調査活動を始め、随時議員全員による協議会等を開催する等、幅広い議会活動に努めてまいりました。この間、町民の皆様には議会に対する深いご理解とご支援を賜り心から感謝を申し上げます。

さて、政府は人口減少対策の重点政策と位置づけた地方創生「第2期総合戦略案」を閣議決定し、地方自治体に「地方版総合戦略」を策定するよう求めています。中川町においては今後、具体的な戦略案の詳細を検討し、推進して行く事が求められます。議会としても、第2期の策定に向けては、第1期総合戦略の施

策について検証・評価をする事が極めて大切であると考えております。

昨年11月13日に開催された全国町村議長会全国大会において、「地方分権改革の進展により、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている」として、地方議会議員の位置付けの明確化・兼業禁止の緩和・手当制度の拡充・議会費に係る財政措置の充実・厚生年金への加入等14項目を決議し、議長会として国に要望を致しました。

本年も中川議会は住民参加型の開かれた議会を目指し、町民皆様の負託に応えるよう努力してまいり所存であります。この令和2年が町民の皆様にとって安心安全な明るい良き年でありますことを心からご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。

あけましておめでとうございます



後列左から 佐々木英和、小池 豊、内山 信悟、平木 総司
坂尻 栄治、小川 鉄吉、佐藤 輝雄、鎌塚 一成

【事務局】

局長 芦名 勇夫
書記 齊藤 友佑

◆第4回定例会◆

令和元年第4回定例会は12月11日招集され、会期を12月12日までとし、4議員の一般質問、同意2件、報告1件、議案11件、予算6件、会議規則3件を決議し、閉会しました。



第4回定例会の様子

議案審議結果

【同意】

▼中川町教育委員会委員の任命

山村 英幸 氏

【原案同意】

▼中川町固定資産評価審査委員会委員の選任 橋場 享二 氏

【原案同意】

【報告】

▼令和元年度歌内本線道路改良工事の報告

【報告済】

産廃数量の確定による変更、現地精査による土工・法面工数量の変更、現地精査による大型視線誘導標数量の変更による。198万円の減額。工期に変更なし。

【条例】

▼中川町住まいの安心応援条例の制定について

【総務常任委員会へ付託】

平成29年度末で失効した「中川町住宅新築・リフォーム促進条例」の助成内容等を見直し、新たな条例として提案。

施行日は令和2年4月1日とし、5年間の時限とする。

（常任委員会審査期限令和2年3月31日まで）

▼中川町商工業活性化推進条例の制定について

【経済常任委員会へ付託】

平成30年度末で失効した「中川町商工業振興条例」の助成内容等を見直し、新たな条例として提案。

施行日は令和2年4月1日（常任委員会審査期限令和2年3月31日まで）

▼中川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

【総務常任委員会へ付託】

会計年度任用職員制度が創設されるに伴い、会計年度任用職員の給与その他の給付に関する事項について、本条例を制定。

施行日は令和2年4月1日

○総務常任委員会審査報告

原案可決すべきものと決定。

委員会審査報告のとおり本会議において、中川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例は原案可決。

○中川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

【原案可決】

会計年度任用職員制度が創設されることに伴い、会計年度任用職員の給与その他の給付に關

する事項について、本条例を制定。

施行日は令和2年4月1日

▼職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

令和元年度の人事院勧告に伴う改正。

▼議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

令和元年度の人事院勧告に伴う改正。

▼中川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

働き方改革法案が成立したことに伴い、長時間労働を是正するため、人事院規則において超過勤務命令の上限時間等を設定するもの。時間外命令を行うことができる上限を規則で定める必要があるため、本条例の一部を改正。

▼職員の分限についての手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

地方公務員法の一部改正に伴う所要の改正。

▼職員懲戒の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例について

地方公務員法及び地方自治法の一部改正され、新たに会計年度任用職員制度が創設されることに伴う改正。

▼職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

地方公務員法及び地方自治法の一部改正され、新たに会計年度任用職員制度が創設されることに伴う改正。

▼中川町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について

地方公務員法及び地方自治法の一部改正され、新たに会計年度任用職員制度が創設されることに伴う改正。

▼中川町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

住民基本台帳法施行令の一部を改正する政令が公布・施行さ

れたことに伴い、「旧姓」の取り扱いについての改正。

【予算】

▼令和元年度中川町一般会計予算補正

歳入歳出総額に、それぞれ7965万9千円を追加し、予算総額をそれぞれ39億1032万4千円とする。

主な補正内容は、第2次地方版総合戦略策定支援業務、新規就農者誘致事業助成、町有林整備事業費、除雪車両修繕費などの追加。

▼令和元年度中川町国民健康保険特別会計予算補正

歳入歳出総額から、それぞれ10万6千円を減額し、予算総額をそれぞれ2億4985万2千円とする。

主な補正内容は、人件費の減額。

▼令和元年度中川町介護保険特別会計予算補正

歳入歳出総額に、それぞれ598万5千円を追加し、予算総額をそれぞれ2億5007万8千円とする。

主な補正内容は、居宅介護サービス費の追加。

▼令和元年度中川町後期高齢者医療特別会計予算補正

予算総額をそれぞれ3263万9千円とする

主な補正内容は、財源調整の為、一般会計繰入金26万6千円の減額。前年度決算確定により繰越金26万6千円の追加。

▼令和元年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正

歳入歳出総額に、それぞれ12万1千円を追加し、予算総額をそれぞれ4億7442万5千円とする。

主な補正内容は、人件費及び簡易水道償還利子の追加。

▼令和元年度中川町農業集落排水事業特別会計予算補正

歳入歳出総額に、それぞれ4万8千円を追加し、予算総額をそれぞれ1億217万3千円とする。

主な補正内容は、人件費の追加。

【会議規則に伴うもの】

▼閉会中の継続調査の申し出（総務常任委員会）

1 医療・福祉施設の運営について

2 住民交通機関対策について
3 地域教育力の向上について

期限

令和2年第1回定例会まで。

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（経済常任委員会）

事件

1 産業振興対策の現況と今後の展開について

・ 農林業振興政策について
・ 有害鳥獣対策について
2 公共施設の今後のあり方について

期限

令和2年第1回定例会まで。

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（議会運営委員会）

事件

1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

期限

令和2年第1回定例会まで。

【継続調査決定】

質疑応答

▼（令和元年度中川町一般会計予算補正）

閤小型ロータリーの故障原因は

何か。

答 経年劣化による駆動モーター部のオイル漏れによるもの。

問 ファイターズ応援大使について、今後何かをやるために計画的に予算が必要なのか。

答 年度内においては、ファイターズ応援ツアーに伴う車両運転手数料の追加や、ポスター・懸垂幕作成による追加補正をお願いしています。

新年度の取り組み内容に関しては、十分に検討を加え新年度予算に反映していきたい。

討論

▼反対討論

議員の期末手当増額について、議会として説明責任が全く果たせない内容であり、賛成は出来ない。

▼賛成討論

なし。

【原案可決】



中川町行財政の効率化の取り組みについて

答 取り組みを二歩ずつ進めてまいります



小池 豊 議員

中川町は高齢化・人口減少により自主財源が減収していきま
す。様々な課題・ニーズに対応
していくためには、効率的な町
政運営が求められます。

行財政改革計画・実施計画の
制定について、どのようにお考
えですか。

石垣町長

行財政運営は相当に厳しいも
のになると認識しております。
平成24年度に改定した中川町行
政改革大綱を基に取り組みを一
歩ずつ進めてまいります。

再質問

行財政改革や将来の中川町を
考えるには、住民との意見交換
が必要であると思うが、どのよ
うにお考えですか。

石垣町長

住民説明会に加え、まちづく
り懇談会をスタートさせ意見を
伺っているところです。また、
次年度においては早い時期に住
民説明会を実施する考えです。

再質問

上下水道の施設及び設備の老
朽化対策について、人口減少に

より上下水道使用料が減っても
上下水道は無くすことのできな
いライフラインであります。今
後の上下水道事業をどのように
お考えですか。

石垣町長

上下水道事業は命をつなぐも
のであります。使用料減により
収入減の赤字に対しては、一般
会計から繰入れをしていく考え
です。

再質問

現在の世帯数は昭和35年から
400世帯減少し、800世帯
となり上下水道事業の運営状態
は厳しいものですが全て利用者
に負担を負わせることになるの
でしょうか。

石垣町長

本年度策定済みの水道ビジョ
ンに基づき安全・安心な上下水
道サービスの提供を維持しま
います。

再質問

町有資産の適正管理と有効活
用について、旧大永建設の社屋
と住宅を取得した経緯と活用状
況についてお伺いします。

石垣町長

平成27年7月に所有者から寄
附の申し出があり、庁内での検
討や全員協議会にもお諮りし採
納を決定しました。利活用につ
いては資金手当ても含め検討を
進めています。

再質問

この造物は老朽化が進んでい
て、現状の状態で使用すること
は不可能だと思います。取得し
た理由は何故でしょうか。

石垣町長

利活用の可能性や財産価値に
着目し採納したところです。今
後、寄付等の在り方について基
準を明確にして、採納の疑念を
招かないかのように進めてい
きます。

再質問

旧郷土資料館倉庫の活用状況
と今後の取扱いについて。

石垣町長

平成13年4月の家電リサイク
ル法により、家電商組合から一
時的な保管場所として、旧郷土
資料館倉庫の要望があり、現在
に至っています。

再質問

公共施設を占有して使うこと
に問題はないのですか。いつ・
どのように公共施設の使用目的
と期間の契約をされたのですか。

播住民課長

平成21年度に家電商組合と協
定書を締結し、期間については
自動更新です。

再質問

この協定業者は何社ですか。

播住民課長

当初は3社、現在は1社です。

再質問

自営業者が廃家電リサイクル
品を公共施設に保管しているの
は疑問があります。

川合副町長

廃家電リサイクルについては、
法で自治体の実施主体への協力
が規定されており、保管場所の
提供を行ってきたところです。

昭和35年は、家電商組合であ
り、現在は1社になったが他社
も同様に家電を扱うなら、行政
が法の基で支援しているので、
この中に含めるのは検討するが、
排除することではありま
せん。

再質問

公共施設使用の協定書に、賃
料の扱いはどのようになって
いますか。

再質問

公共施設は住民利用に供する
ことを目的としております。そ
れを業者・個人に占有させてい
ることに問題はないのですか。
住民がわからないところで物事
を進めることは避けていただき
たい。

再質問

旧中川保育所の活用状況と今
後の取扱いについて。

石垣町長

町が利活用することは難しい
と判断し、売却に向けた準備を
進め、手続きを行っていきま
す。

再質問

町は公共施設を次々と建てて
いるが利用できなくなった遊休
公共物の取扱い・解体計画はあ
りますか。

石垣町長

利活用計画を立てたうえで、
解体すべきものは計画性をもつ
て進めていきます。

播住民課長

先ほど副町長が説明しました
主旨で無償です。

再質問

この公共施設は、申請すれば
住民の誰もが使用できるのです
か。

石垣町長

申請内容により判断すること
となっています。

再質問

公共施設は住民利用に供する
ことを目的としております。そ
れを業者・個人に占有させてい
ることに問題はないのですか。

問 新年度に向けた町政の主要課題について

答

それぞれの施策に対し
取り組みを進めて参ります



小川鉄吉 議員

中川町の人口減少は毎年100名前後の減少は止まらず、消滅の方向に歯止めがかけられない危機的な状況であります。ここから脱却するには、中川町のあるべき基本にかえり、中山間地域における産業振興が最大の課題であると考えます。

- 3 観光振興について
- ・中川町地域開発振興公社の経営体質の改革について
- ・施設の改修計画について

石垣町長

1点目について、第7次中川町農業振興計画は、5年様々な情勢を踏まえ見直しを行いながら取り組むものですが、主要課題であった地域農業の振興機関が設立されたことで、酪農の振興が加速されると期待しているところです。林業政策については、「森林政策の推進」と「森と暮らし環境推進」を、住民・林業関係者のご理解を賜うような取り組みを一層進めながら、森林文化の再生に関する施策を推進します。

- 1 農林業政策について
- ・従来の農林業政策の大胆な見直しを進めるべきと考えるか
- ・中山間地域における農業振興の原点をどう考えているか
- ・農林業の就労人口の拡大に向けた政策展開は？
- ・農業振興公社の組織見直し等

- 2 地域福祉政策について
- ・介護施設の経営健全化に向けた取り組み強化について
- ・介護職員の確保に向けた町としての取り組みについて

また、安平志内流域における農業の再生が、重要課題であると考えております。JA北はるか中川支所や生産者と共に安心安全な畑作生産地として、新規就農を主とした具体的な方策を検討してまいります。

農林業従事者の確保育成を進めるにあたり、農家の法人化や中川町農業振興公社における研修生受け入れの検討、働く場を拡大するため、地域の民・官の連携で効果的な政策に関する議論を深めてまいります。

2点目について、「特別養護老人ホーム「心苑」及び「グループホームひだまり」の施設があり、一心苑においては平成27年度、ひだまりにおいては平成30年度より、介護職員不足が続いています。定員制限をしながらの運営となり、町内で介護職員を求めると、道社協の福祉バンクなどに求人登録をしてい

るが、介護職員が確保できない状況が続いています。従来の求人方法を見直し、東川町が中心に取り組んでいる「外国人介護福祉人材育成支援協議会」の活用も視野に入れながら、町と社協で協議を進めているところであります。介護職員の確保は喫緊の課題であると強く認識しており、職員が確保され体制が整えば、健全経営になると考え、介護職員の確保に向けて積極的に取り組みます。

3点目の中川町地域開発振興公社の経営体質の改革について、町は平成18年4月から民間の機動力とノウハウの活用による経営収支の改善を目的に指定管理制度を導入し、平成19年第16期株主総会において、定款の改正や1単元株式数の設定、株主の代表取締役を行政特別職から地域民間者へ、組織再編に着手し、民間経営感覚を取り入れた経営改革を進め、現在に至っています。

施設の老朽化については、先に設計した改修計画の実施に向けた議論をしてまいりましたが、多額な財政負担や、今後の本施設の機能のあり方

などに視点を置き、関係する団体や機関のご意見を伺うことが必要と考えております。活動経営目的でもある「地域産業・経済の活性化支援に係る観光客の誘致及び中川町の宣伝」の原点に立ち、振興公社のあり方について意見をまとめ、結論を出していきます。

再質問

介護職員の具体的な確保に向けた方向性について。

石垣町長

社協と協議を進め、具体的対応について、職員の待遇改善を含めて、新年度に向けての取り組みを進めていきます。

再質問

振興公社の具体的改革と経営改善の町としての考え方を明確にし、改修計画と共に方向性について。

石垣町長

改修計画・改修計画、共に策定する中で協議致します。

問 地方創生政策と中川町の取組について

答 住民サービスは 町民の意見を聞き再考したい



鎌塚一成 議員

人口減少の克服と地域活性化を目指している地方創生政策事業についてお伺い致します。町長は財政の健全化を強調して、町政に取り組みとして就任して半年を経過しております。国の2020年予算の取り組みについて、既に各省庁の骨格予算案がちらちら伺える報道が目につきます。

中川町の財政の現況は、経常経費の肥大化と公債費の増加が目立ち、又公共施設の老朽化での再投資も大きな政策課題になっていると思われまします。この様な状況での取り組みについて伺いたします。

① 地方創生事業の概要と今後の計画について。

② 町独自に取り組まれている町民サービスとしての無償または少額負担事業の今後の対応。

石垣町長

平成27年度に策定された、中川町まち・ひと・しごと創

生総合戦略が来年3月で終了します。人口減少社会に対応した持続可能な地域づくりを行うとして取り組んでまいりました。具体的には、

① 「高齢になってもずっと住み続けられる町をめざす」では、交通支援対策など

② 「地域産業の振興で新たな雇用創出」では、農業振興センター、商工業者の新規開業・事業継承への支援など

③ 「資源を活用して交流人口拡大」では世田谷区との交流・エコモビリティ観光など

④ 「移住・定住化」では、新規就農制度の拡充など

⑤ 「安心・安全で楽しく子育てが出来る環境づくり」では、幼児センター新築・高校就学支援など

に取り組んでまいりました。この施策の中でも「地方創生加速化交付金を受け、平成28年には中川町交流情報発信拠

点施設運営協議会を設立し、東京都世田谷区に「ナカガワのナカガワ」をオープンし地域情報を直接発信して中川町の魅力が伝わり、交流人口の拡大に繋がって来たものと考えています。

今後の予定として国の第2期総合戦略が12月中に閣議決定され、地方公共団体はそれに基づいて地方版総合戦略の策定を行う流れになっていきます。本町でも次期総合戦略について作業に取り組んでいます。

次に住民サービスについて、入浴助成とハイヤー利用に限定してお答えします。この事業についてはどちらも利用者からは高評価の声を頂いております。結果として、高齢者が安心して暮らせる環境づくりに大いに役立っているものと認識しているところであります。その一方で利用負担についての意見も頂いており、年齢基準に達したら一律に無

料にするのではなく、ある程度の負担は求めるべきではないか、同じ町内で居住する地域で負担の在り方が違う、など様々な意見が寄せられています。そのことも事実であります。そのような背景に鑑み、高齢者施策を全体的に見直す時期であると判断し、来年度は町民のご意見お聞きする諮問会議

などを設置して幅広い意見をお聞きしながら、事業内容を再考したいと考えております。更なる高齢化社会を迎えるにあたり限られた財源ではありますが、着実に事業を実施することで安心して地域で暮らせる支援策を検討してまいります。



ナカガワのナカガワ

問 新年度の予算編成について

答 これまでの行政経験を活かし、
一歩二歩着実に進めていきます



平木総司 議員

新首長として初めての新年
度予算を公約達成に向けての
ように編成していくのか、次
の点から理念・見直し点・優
先事項等の所見をお伺いしま
す。

1. 財政規律・行財政の健全
化について
2. 産業振興について
3. 温泉施設について

石垣町長

一点目の「財政規律、行財
政の健全化について」お答え
します。

新年度予算編成における具
体的な取組みとしては、11月
に職員に示した当初予算編成
方針の基、令和元年度の事務
事業の評価作業を、継続事業
と新規事業に仕分けし、実施
しているところです。

この事務事業評価の実施に
あたっては、①行政経営の質
的向上②職員の意識改革、政
策形成、企画能力の向上・強
化③行政の説明責任の明確化

④行政改革・行政運営の効率
化、を基本方針としており、
評価の実施により事業の統合
・廃止、民間委託やNPOの
活用の可能性、コスト削減等
による効率化などを検討する
指標としています。事業の成
果については、「予算や決算
額だけで計る、何をどれだけ
実施したか、予算をどれだけ
使ったか」ではなく、「事業
実施により住民生活にどの程
度役立ったか」「経費に見合
う事業か」という視点に立つ
た成果重視の評価によって、
事業効果を一層高めることに
しています。

また、財政の健全化をすす
めるため、経常的な一般行政
経費の5%削減、余程の優位
性がない限り新たな借金につ
いては元金の支払いを超えな
いよう、プライマリーバラン
スに配慮します。住民サービ
ス分野におきましては、公平
性・平等性・簡易性に着目し、
来年度、町民の皆様のご意見

を聞きながら、令和3年度施
行に向けた見直し作業を進め
てまいります。

二点目の「産業振興につい
て」お答えします。

本町の基幹産業である農業
は、担い手の減少や高齢化の
進行、グローバル化の進展な
ど、様々な課題に直面してお
り、その中で、昨年一部改正
された新規就農条例のもと、
支援要件を拡大したことで、
5年ぶりに新規就農があり、
更に、現在3組の皆様が2年
後の就農を目指して研修を行
っているなど、一定の成果も
見え始めています。しかし、
就農予定者は全員酪農を希望
していることから、今後、畑
作、園芸の就農の新規誘致に
向けて、主要作物や高収益作
物の畑作支援環境を整えてい
くことが極めて重要と考えて
います。「中川町第7次農業
振興計画」に掲載し目指す方
向とされた「担い手の確保・
育成」「農業所得の向上」に

向けて、直接生産者の声を聞
き、(株)中川町農業振興公社や
北はるか農業協同組合中川支
所などの関係機関と連携、協
議を重ねながら、効果の高い
農業予算の計上に努めます。

三点目の「温泉施設につい
て」お答えします。

「ポンピラアクアリズイン
グ」につきましては、躯体・
設備等の老朽化から、都度の
修繕や設備更新により、その
延命を図っている現状にあり
ます。

本年度は、修繕費として1
00万円、工事請負費として
512万4千円を計上し、軽
微な修繕への対応や喫煙室の
設置、消防設備の更新工事を
終え、年明けには脱衣所床の
張替え工事を予定しています。
町の象徴的な施設として位
置付けられているポンピラア
クアリズイングの今後のあり
方については、現状の利用実
態だけで改修の内容を決める
ことは好ましくないと考えて
おり、地方創生を具現化する
ためにも、(株)中川町地域開発
振興公社、また中川町観光協
会が、どのような地域戦略・
観光戦略を描いていくのが
重要であり、過半の株を保有

し、また補助金を交付する町
の考え方も、複眼的でなけれ
ばならないと思っています。

施設の老朽化が著しい中、
改修計画見直しの時間は非常
に限られているが、経済団体
や指定管理者など、各主体か
らのご意見を踏まえながら議
論を加速してまいります。ま
た、劣化の状況などを把握し、
中川町地域開発振興公社と協
議、連携を図りながら、施設
の修繕、設備の更新を最小限
に抑え、利用者に対して、安
全で衛生的な施設を保つ努力
をしてまいります。

平木議員

財政規律・行財政の健全化、
産業振興などについてスピー
ド感を持った対応をお願い致
します。



昨 年 の 町 の お 金 の 使 い 方 は ？

平成30年度中川町一般会計外5特別会計の決算について10月10日・11日の2日間にわたり審議し、認定されるべきものと決定されました。

平成30年度 一般会計・特別会計

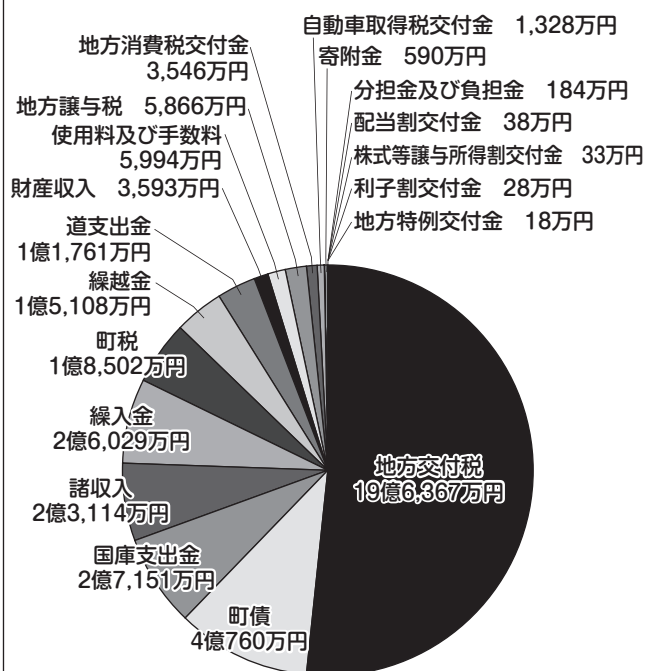
(1万円未満を切り捨てているため、それぞれの総額は異なります。)

区 分	収入 済 額	支出 済 額	形 式 収 支	実 質 収 支
一 般 会 計	38億0016万円	36億2032万円	1億7984万円	1億7984万円
国 民 健 康 保 険	2億0213万円	2億0198万円	15万円	15万円
簡 易 水 道 事 業	3億9389万円	3億9380万円	8万円	8万円
農 業 集 落 排 水 事 業	8411万円	8405万円	5万円	5万円
介護保険(保険事業)	2億2209万円	2億2040万円	169万円	169万円
後 期 高 齢 者 医 療	3301万円	3275万円	26万円	26万円

※実質収支＝形式収支－翌年度へ繰越すべき財源

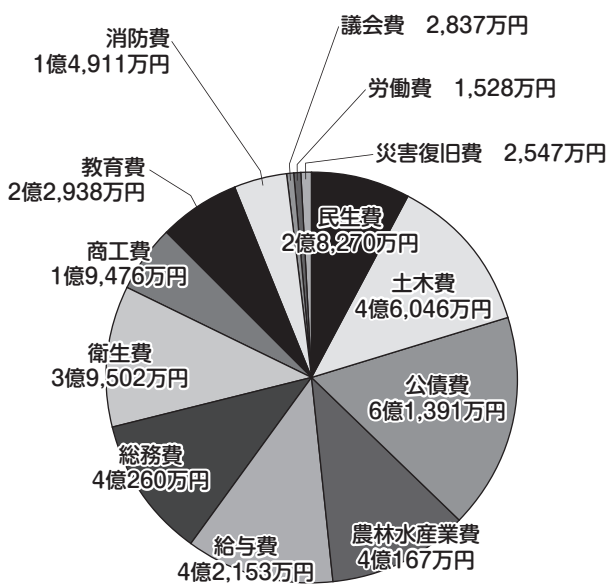
一 般 会 計 歳 入 内 訳

(単位：万円)



一 般 会 計 歳 出 内 訳

(単位：万円)



平成30年度の事業が適正に執行されているか審査を行い、町当局から各事業の目的や効果について説明を求め、決算を認定しました。

主な質問事項

歳入全般

(一般会計・特別会計)

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

歳入納付率について具体的な説明を。

問 エコミュージアムセンターについて、もつと営業を行ったり、プールに關しても、施設をもつと利用してもらえるように、健康増進ができる事業と併せた事業展開をしなから利用料を増やしていくことが望ましいのでは？

答 プールは開館時間等の見直しを検討していく。エコミュージアムセンターについても、情報発信事業を更に活用し入館者数の増加に努めていきたい。

問 ふるさと納税返礼品の選定は公募なのか？町が指定しているのか？

答 町内の各事業所に声を掛け、新しい商品の発掘に努めている。



問 寄附を頂いた方からの要望・意見等はないのか？

答 ほとんどの方がインターネッ卜での申し込みとなっており、返礼品に關しての要望等の声を聞く実態は少ない。

問 ふるさと返礼品に關して、他の地域において取り消された実態があるが、本町に關しては問題はないのか。

答 総務省からガイドラインが示された際、金額等を見直しており、寄附額の30%以内とされている。

問 町営牧場の今後の在り方は？

答 様々なご意見を賜りながら今後検討していく。マウンテンバイクの利用促進において牧場の管理道路を使用し、町内外から視察等を受けている。フットパスとして利用する計画も検討している。

総務課関係（歳出）

問 広報紙において他に町民が知りたい内容があるのではないか。

答 行政について、町民に広くお知らせし、知ってもらうこ

とを第一に考えている。過去の積み重ねの中から現在の内容になっている。ご意見を参考に内容を検討してまいりたい。

問 広報紙作成業務について随意契約一社で契約を行うのは何故か？

答 現時点で最も費用対効果が高いので採用しているが、今後も様々な手法を検討していきたい。

問 広報紙の内容について町民から意見を聞くなどして、広報の充実の検討を。

答 部内で検討し、見直しを重ねていきたい。

問 IP電話更新の進捗状況は？

答 耐用年数が過ぎており、来年度の更新を目指す。



問 停電時にはIP電話が機能しないが、本町では従来どおりの方法で活用するのか。

答 停電には不向きであるが、それ以外の災害においては有効な手段である。停電時にはエリアメールや広報車を活用しながら対応していく。

問 移住体験住宅を大学生が調査研究に使用するの目的外使用になるのでは？

答 都市部との交流も目的としており、学生の使用を許可している。

住民課関係（歳出）

問 高齢者ハイヤー利用支援委託に關する不公平感への対策について。

答 交通弱者は年齢だけに制限されないものと認識しており、公平感のある制度設計・見直しを検討していく。

問 健康づくり事業における特定健診の受診率は？

答 平成30年度については、177名受診、66.8%で、平成29年度実績については、全道第5位の受診率。

問 医療費への影響はどうか。

答 心疾患・脳血管疾患・糖尿病の医療費は、5年前に比べ下がっている。

問 今後中川町における出生率を上げるプランは？

答 平均の合計特殊出生率を1.8（年間16人出生）に高めたいと思っている。地域で子育てしやすい環境の整備を行い、子育てしやすいイメージを作り上げ、それを発信し、目標に近づけるようにしたい。

問 君の椅子贈呈の効果は？

答 保護者から好評であるが、今後も引き続き検証してまいりたい。

問 幼児センターの保育士を増やす考えはあるのか。

答 最低基準において職員数の設置は満たしている。不足部分については、臨時職員を配置し対応している。現段階においては、人数は足りているという認識。

問 診療所の経営が悪化している。規模が縮小しているのにも関わらず、経費が増大して

いる。見直しをしているのか。
答 出来るだけ無駄を省き今後
も一層の経費節減に努めたい。



入院機能が回復した町立診療所

問 患者が町外に流れることなく、診療所の入院機能が活用されるような医療体制の確保を。

答 住民の理解を得られるよう、今後も、医療法人と診療所経営について協議していきたい。

産業振興課関係(歳出)

問 企業振興条例は必ず雇用し
なければならぬのか。

答 本条例の目的は、雇用の確保があつての支援であり、正職員の確保が条件になる。

問 今年のデントコーンの作付けの状況は？

答 本年の作付け状況はやや悪いという認識。

問 今後の農業振興に対する方向性は？

答 今後の中川町の農業振興についての勉強会を行っている。農業公社における自給飼料の運営が主たる目的。デントコーン供給体制の持続的にできるようにしていきたい。

問 中山間地域においては大規模化より中規模化が望ましいのではないか。

答 大規模酪農だけが全ての振興策だとは思っていない。中川町は2,800haの農地を所有しており、その土地利用をどうしていくのか、また、酪農・畜産・畑作、特に機械化によらない畑作産物の振興も視野に入れなければならないと考えている。畑作物の生産者が減ってきている中、生産者とJA北はるか農協において出された営農計画を基に実態の把握をしなければならぬと考えている。今後さまざまな土地利用にも視野をおいて振興していきたい。

問 合板製材生産性向上対策事業において当初の落札価格より3割以上事業費が高くなっている理由は何か。

答 当初の積算より集材道の延長が増えたことによる変更。

問 中川町地域開発振興公社の経営に関して抜本的な改革をすべきでは？

答 町が主体的に関わって運営をしていく必要があると感じている。

問 新製造が行われて6年が経つが経済的波及効果は？

答 平成30年度の薪販売内訳が、町内は、販売件数5件、32立米、販売額51万2千円。町外は、販売件数12件、61立米、販売額119万8千円。合計で171万円。

問 保有している古い薪の販売を検討してみてはどうか。

答 単価を下げて売るといふことも検討している。未利用材の有効活用という観点から、端材は、きこり祭等のイベントで活用している。薪製造後の品質管理を徹底に努めていきたい。

問 エゾシカの捕獲頭数減に關してどう考えているか。

答 銃器と囲い罠により駆除を行っているが、囲い罠を用いた駆除がほぼ実施できていないことが原因と思われる。

平成30年度250頭の捕獲目標に対し、捕獲頭数は138頭であった。

問 ログハウスの利用方法について。

答 第一義的には町民の公園と考えている。空いていれば町外の方にも使って頂いている。町民に迷惑がかかるような利用が発生するのであれば、対応を検討しなければならない。



ログハウスの今後の使い方

環境整備課関係(歳出)

問 水道使用料の滞納者への対策が不十分ではないか？

答 文書や電話による催告や、訪問徴収を行っている。分納計画どおり納入がなされない滞納者には一歩踏み込んだ対応に努めて参りたい。



町道除雪風景

問 除雪の出動の基準について。
答 生活活動が始まる前の時間帯に10cm以上の降雪があつた場合出動する。生活活動が始まる時間帯や経済活動が行われる時間帯に関しては、20cm以上の降雪があるなど交通に支障が出る場所においては臨時的に出動する規定となっている。

問町道の補修について。

答雪解け後、職員と受注業者による見回りを行い、道路状況の確認を行っている。除雪業務や凍害・凍上によって損壊した部分に関してはいち早く対応している。出来る限り歩きやすい道路への対処に努めていきたい。

問公営住宅の空き家は現在何件あるのか。また、空き家に除雪費などの維持費をかけるのは如何なものかと思うが、今後の空き家対策は？

答37戸の空き家がある。想定以上の人口減少や世帯構成の変化によるニーズに即座に因應する状況を整えるのは難しい。公営住宅の適正な管理戸数を今後も検討していきたい。

教育委員会関係(歳出)

問なかがわ塾に通う子どもの進学に対する考え方はどのように変化してきたか。

答進学したい学校だけでなく、将来なりたい職業などにも具体的な目標を持つ子ども達が増えてきている。それぞれの目標に見合った学力形成を目指している。

問なかがわ塾講師の今後について心配はないのか。

答後継者の確保については課題があると考えている。現在地元にいる方や、移住体験をされている方に講師になって頂いている。人材の発掘は常に心がけている。

問単式学級に対しての保護者の評価を教えてください。

答保護者からは良い評価を得ている。複式学級は今後2年で解消し、今後複式学級にはならない予定。

問増々、高齢化が進み、子どもからお年寄りまでの人的交



流が希薄になってきていると考える。地域の交流に対し今後の体制づくりはどのように考えているのか。

答教育委員会が関係する団体・サークルと町内会自治会が連携して町民文化祭の企画をしている。今後も多世代が参画できる取り組みも検討、協議していきたい。



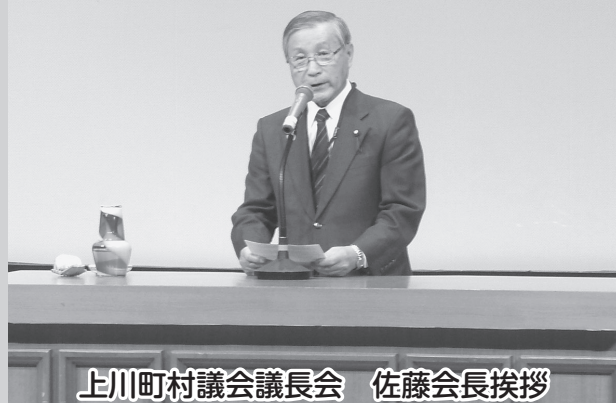
質疑を終了後、一般会計他5会計の決算認定について全会一致で認定されました。

上川管内町村議会 議員研修会に参加して

10月29日(火)美瑛町で上川管内議員研修会が行われ、議員8人全員で参加してきました。

この研修会では2名の講師が様々な視点から未来のビジョンや障がい者の就労で成功事例など現状をわかりやすく講話して頂きました。

特に久田徳二氏(北海道大学客員教授)が講話した「グローバリゼーションの新時代」と題し、TPPやゲノム編集生物、遺伝子組み換え生物がこれからの道民の健康と暮らしにどのような影響があるかなど、講話の内容で町での農畜産物の在り方などについて実りある研修会でした。(佐々木)



総務常任委員会所管事務調査

11月27日(水)、28日(木)総務常任委員会所管調査で鎌塚一成委員長、内山信悟副委員長、佐藤輝雄委員、佐々木英和委員の4名が東川町と幌加内町へ視察に行き、「実際に目で見て考えることの出来る議会活動」を行ってまいりました。

初日は、所管調査として東川町への視察を行い、社会福祉関連の人材不足が問題となっている昨今、外国人介護福祉関係の先進地である、東川町と学校法人北工学園旭川福祉専門学校を視察し、「外国人介護福祉人材支援協議会の現状と今後の発展」について東川町役場にて意見交換を行いました。この意見交換会の中では、外国人を受け入れることへの日本語の対応や、生活環境への懸念などの説明を詳しく受けることができました。その後、実際に外国人学校や福祉学校施設の視察などを行い、我が町での今後の検討材料となる視察を行ってき



放課後の過ごし方を見学



介護実習授業について説明を受けている様子

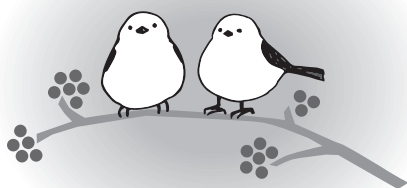
2日目には幌加内町で「地域公共交通(ほろみん号)の運行状況と課題」について幌加内町役場で意見交換を行いました。幌加内町では鉄道が廃止され、路線バスへの切り替えが行われている中、地域の交通弱者や通院問題などについて、幌加内町と旭川市を結ぶデマンド交通のあり方を詳しくお聞きすることができました。18歳未満の利用が出来ないことや、幌加内町が南北に長い地域的特性がある中、利用者の不公平感、使いにくさなどの実態を聞いてきました。

また、デマンド交通での補助金の終了年度が迫る中、今後の対応についても協議していくことなど、丁寧な説明を頂くと共に、過疎地での交通機関の環境づくりにも、この所管調査をとおし検討を重ねていく事が重要と感じ、他町村の課題や問題点が多数ある中、様々なアイデアを出しながら、町の福祉政策を今後どうあるべきか? 地域公共交通機関の在り方をどうするかなどを学ぶことが出来ました。我が町でも今後、福祉人材

不足の解消と地域交通のあり方などを検討することが、福祉サービスの充実に繋がることを様々な視点から、これらの町に反映できるようにしていきたいと思っています。



ほろみん号について説明を受ける総務委員



議会を傍聴しませんか

議会の活性化のために、多くの町民の皆さまの傍聴をお待ちしております。



議 会 日 誌

10月

13日 中央小学校第46回学習発表会

21日 参議院議員鈴木宗男先生に対する要望会【名寄市】

28日 上川管内町村議会役員会【旭川市】

29日 上川管内町村議会議員研修会【美瑛町】

11月

10日 幼児センター発表会

12日 上川管内町村議会議長現地研修会（16日まで）

〃 上川町村議会議長会臨時総会【岩手県・秋田県】

13日 「創立70周年記念式典」及び第63回町村議会議長全国大会【東京都】

18日 宗谷本線活性化推進協議会【札幌市】

20日 第16回全員協議会

21日 中川町表彰条例に基づく表彰式

23日 自由民主党名寄ブロック「令和元年度政経文化パ―ティー」【名寄市】

25日 北海道町村議会議長会理事會【札幌市】

27日 総務常任委員会所管事務調査（28日まで）

【東川町・幌加内町】

12月

2日 令和元年第2回上川北部消防事務組合議会定例会

4日 第11回議会運営委員会【名寄市】

11日 第17回全員協議会

〃 第18回全員協議会

〃 第4回定例会（12日まで）

12日 条例審査総務常任委員会

14日 第19回全員協議会

1月

4日 成人の日のご祝い

5日 名寄駐屯地新年交礼会【名寄市】

7日 中川消防出初式

15日 上川町村議会議長会監査・役員会【旭川市】

16日 中川町商工会新年交礼会並びに永年勤続優良従業員表彰式

〃 第1回全員協議会

〃 条例審査総務常任委員会

18日 条例審査経済常任委員会北口ゆこう道議と語る新春の集い【士別市】



新しい門出を祝して乾杯!!!



新成人おめでとうございます

編集後記

あけましておめでとうございます。
本会議は一般質問や議案・重要案件を審議するところです。議員は常に「町のため・町民のためになるか」を考えて、町民の負託に応えていかなければならないと思います。

中川町議会も他町村議会と同じように議会改革と言われ続け、また唱え続けております。平成24年度に議会改革活性化の町民アンケート集計（議会だよりNo.101号）では、議員個々の質的向上・意識改革を強く望んでおりました。これらを踏まえて「議会だより」を発行してまいります。

（豊）



広報紙編集作業風景

議会広報特別委員会

委員長 佐々木 英 和
委員 小池 豊



道産 間伐材使用 この広報紙は道産間伐材を使用しています。